

ダムの状況をリアルタイムで確認できます！

◆荒沢ダムの現在の貯水位や放流量の状況、カメラ画像などの情報を、「山形県河川・砂防情報システム」で確認することができます。

アクセス方法：下記のアドレスから「山形県河川・砂防情報システム」のHPへアクセス
 【荒沢ダムの貯水位・放流量】「ダム情報」→地図上の「荒沢ダム」をクリック
 【荒沢ダムの映像】「映像情報」→地図上の「荒沢ダム」をクリック

ホームページアドレス：
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/>



ダムカードの配布について

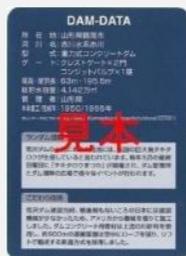
◆荒沢ダムではダムカードを配布しております。

配布場所：荒沢ダム管理課

(管理課玄関のインターホンを押してください)

配布時間：午前9時～午後4時まで
 (土日祝日含・年末年始除)

※ご注意
 ダムカードは、配布場所にて、お一人様一枚の配布に限らせていただいております。また、郵送等での配布は行っておりませんので、ご了承ください。



アクセス方法



◆自動車
 山形自動車道「庄内あさひIC」～鶴岡市荒沢方面へ約25分
 ～「荒沢トンネル」手前を右折

ダム見学予約受付中！

事前
 申込み
 平日
 のみ
 団体
 のみ

◆見学可能時期：通年可能 (事前の予約が必要です)

※ダム堤体内及び管理課建物はエレベーター施設等がなく、急な階段のみとなっております。階段の移動が困難な方は、ダム周辺 (ダム上部や管理課前等) のみの見学とさせていただきます。
 ※ダムからの眺望や周辺の公園・広場は曜日に関係なくお楽しみいただけます。

◆申込み方法：
 山形県ホームページにアクセスし、「荒沢ダム管理課」で検索、荒沢ダム管理課のページより「荒沢ダム見学申込書」をダウンロードしてください。必要事項を記入のうえ、ご希望日の1週間前まで申し込みをお願いします。追って、こちらから確認のご連絡をいたします。(都合により、日時の変更をお願いする場合があります。)



ダムトンネル探検もやってるよ！



荒沢ダム

ARASAWA DAM



荒沢ダム

荒沢ダムのある赤川は、山形・新潟県境の朝日山系以東岳（標高1,771m）を源とし、大鳥池を経て、荒沢ダムに至り、鶴岡市落合で右支川梵字川を合わせ、さらに広大な庄内平野を貫流して、日本海に注ぐ、流路延長70.4kmの1級河川です。流域には、鶴岡市及び酒田市、三川町があり、庄内地域における社会・経済・文化の基盤をなすとともに、古くから山形県有数の穀倉地帯を形成しています。

赤川の上流山地部は年間降水量（雨・雪）が3,000mm以上で日本有数の多雨豪雪地帯となっており、特に旧朝日村は特別豪雪地帯に指定されています。この豊富な水資源は、流域の利水の歴史に恩恵を与えてきました。

しかし、ひとたび洪水となって川が氾濫すると、人や生き物の命をうばい、財産を流し、耕地を荒廃させます。特に1940年（昭和15年）の大洪水は流域に大きな被害を与えました。

そのため、洪水調節・河川の正常な流量の維持・発電を目的とした多目的ダム『荒沢ダム』を、赤川総合開発事業の一環として建設しました。昭和25年に工事着手、総工事費18億円にて昭和30年12月に完成し、現在に至っています。

ダムの建設により、荒沢集落42戸、200余名の方々の移転があり、水田、畑、山林1.89km²が水没しました。荒沢ダムの完成により洪水による被害は軽減され、発電、不特定かんがい用水源の確保など、庄内地方の経済に大きく貢献しています。



■ビューポイントからの風景
4月～6月上旬の融雪期の放流の時期がおすすめ

県管理最長老のダム※

総貯水容量県管理No.1※

おすすめ
ビューポイント



発電用取水塔

クレストゲート

放流バルブ

※山形県管理ダムの中での比較です

荒沢ダムの目的

PURPOSE OF ARASAWADAM

■ 洪水調節

(F:Flood Control)

大雨や融水の洪水時に上流の水をダムにためて、下流に流す水の量を調節することで、川が増水してあふれることを防止または軽減します。下流の水位を下げることで、堤防が決壊するリスクを下げます。

洪水期間	7月1日～9月30日
洪水量	360m ³ /s以上
設計洪水量	1,500m ³ /s(1/100)
計画洪水量	1,200m ³ /s(1/52)
計画放流量	360m ³ /s
ダム調節量	840m ³ /s(70%)

■ 流水の正常な機能の維持

(N:Normal Function of the River Water)

夏期等に雨の降らない時期が続くと、川の水が減って生き物に影響が出たり、水質が悪くなったりします。そこで、ダムにためておいた水を下流に補給して川の流量を保つことで、潤いのある河川を維持します。また、ダムができる前からの農業用水に使用する役割もあります。

■ 発電

(P:Power Generation)

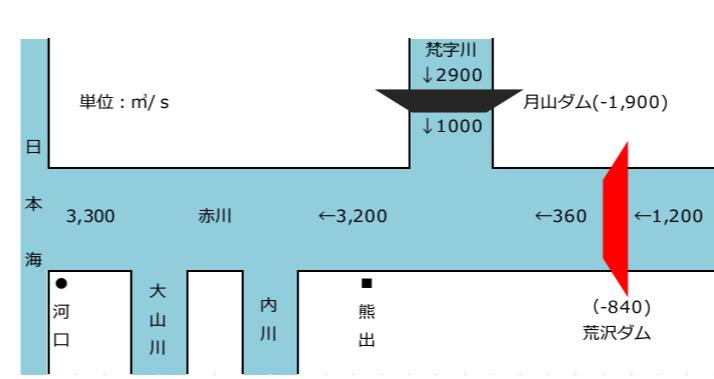
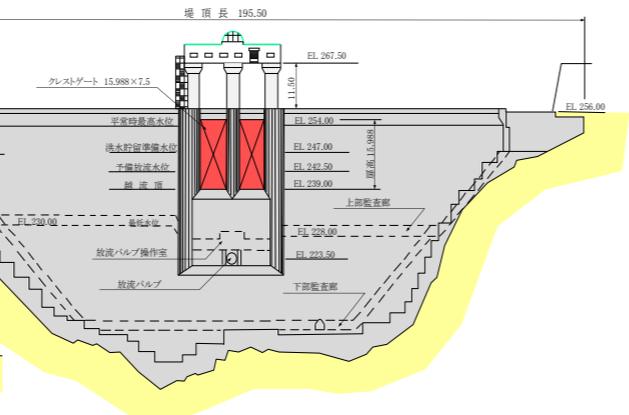
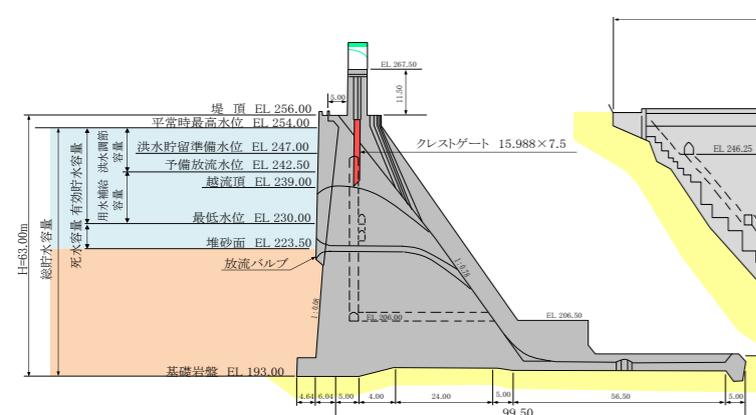
水力発電のために水をためています。ためた水を、高い位置から落とす勢いを利用して電気をつくります。水力発電は、クリーンなエネルギーとして私たちの暮らしに役立っています。

事業者・発電所名	山形県企業局・倉沢発電所
形式・水路	ダム水路式・圧カトンネル
最大有効落差	73.7m
最大出力・取水量	14,000kw 22m ³ /s
常時出力・取水量	4,800kw 8.7m ³ /s
年間発電電力量	約70,000,000kW
水車・発電機	フランシス7,500kVA 2台

ダム上流図

ダム標準断面図

流量配分図



ダム諸元		貯水池諸元	
河川名	一級河川赤川水系赤川	集水面積	162.0km ²
位置	山形県鶴岡市荒沢	湛水面積	1.89km ²
形式	重力式コンクリート	平常時最高貯水位	EL 254.00m
堤高	63.0m	洪水貯留準備水位	EL 247.00m
堤延長	195.5m	最低水位	EL 230.00m
堤体積	156,000m ³	総貯水容量	41,420,000m ³
基盤岩標高	EL 193.00m		
クレスト標高	EL 239.00m		
堤頂標高	EL 256.00m		
地質	安山岩		